

# 第49回 生体制御学セミナー

埼玉県立がんセンター・埼玉大学生体制御学コース交流セミナー

## Ah レセプターによる大腸がん抑制作用

生田 統悟 先生

埼玉県立がんセンター・臨床腫瘍研究所

日時:2013年12月12日(木)16:20~17:20

場所:理学部2号館 2階 8番教室

### 要旨

我が国における大腸がんの罹患数は男女共に上位を占めており、食生活の変化に伴って増加していると言われている。われわれは、リガンド依存性転写因子である Ah レセプター (AhR) 欠損マウスの盲腸に管状腺がんが自然発生することを見だし、AhR の大腸がん抑制作用を報告した。さらに家族性大腸腺腫症のモデルマウスである Min マウスに AhR リガンドを飼料に混ぜて投与することにより、腫瘍抑制効果が現れることを示した。

一方、消化管に生じるがんには、炎症が重要な役割をもつことが知られている。AhRKO マウスの腸では炎症が亢進することが示されており、このマウスの発がんとは炎症の関連について、無菌的に飼育したマウスや、AhR・ASC 二重遺伝子欠損マウスを用いて研究を進めた。ASC は生体防御・疾患の免疫応答に重要な役割を果たしており、インフラマソームの構成成分として Caspase-1 を活性化し IL-1 $\beta$ /IL-18 の産生を促進するアダプターである。本セミナーではこれらの研究で得られた結果を紹介し、発がんとは炎症との関係を論じたい。

問い合わせ先:足立 明人(内)4355

akihito@mail.saitama-u.ac.jp